

簡易版BCPシート(自然災害対策版)

① **重要業務の選定** 自然災害が発生したら、優先する重要業務を選定し、目標復旧時間を設定します。

策定・最終更新日：2024年3月20日

組織名等	ケアステーション野いちご	所在地（市町村名）	平塚市立野町 1 0 - 5
重要業務（一番に復旧させるべき業務）	利用者及びその家族への連絡(風水害時)、利用者が避難しているかどうかの確認、各居宅介護支援事業所への連絡		
目標復旧時間（いつまでに重要業務を完了させますか）	24時間以内		

② **災害リスクから考えるBCPの発動条件** 自組織の所在地の災害リスクをハザードマップで確認し、BCPの発動条件を考えます。

組織の所在地である （平塚市立野町 10-5） において発生しうる 災害のチェック	☐	地震	×	津波		組織の BCP 発動条件	地震	震度 5 弱 以上を観測した場合
	☐	洪水・高潮（外水氾濫）	×	内水氾濫			水害	☐ 警戒レベル 4（避難指示（緊急）、氾濫危険情報等）
	☒	土砂災害（地滑り等）	×	液状化			土砂災	☒ 警戒レベル 3（高齢者等避難、洪水警報等）
							その他	☐ 公共交通機関の計画運休が実施される場合 ☐ その他（

※「その他」欄は自然災害だけでなく、感染症等も設定可能です。

③ **発災時の出勤・帰宅体制** 従業員の出勤・帰宅体制の確認と、自組織ルールを決定します。

	原則（適用するものに☑）	自組織独自ルール
出勤時間帯に発災	☒ 原則、自宅待機 ☒ 自宅に近い場合は自宅、 職場に近い場合は職場へ	職場以外の場所で安全を確保 した場合は必ず連絡
就業時間帯に発災	☒ 原則、職場内待機 ☒ 外出中の場合は周辺の安全な場所で待機 ☒ 来所者は職場内の安全な場所に誘導	⑥BCP発動時の流れの内容を 速やかに実施
帰宅時間帯に発災	☒ 原則、職場内待機又は職場に戻る ☒ ただし、自宅の方が近い場合は、 自宅又は周辺の避難場所等で安全確保	職場以外の場所で安全を確保 した場合は必ず連絡
在宅時に発災 （休日等）	☒ 原則、自宅待機 ☒ 身の安全を優先・維持したうえで 自組織の近隣に住む従業員を中心に出社	⑥BCP発動時の流れの内容を 速やかに実施

※上記原則・ルールは、発災後、すぐに逃げないといけないような火災の場合は除きます。

④ **減災の事前対策**

備蓄物資は従業員1人に対し、最低3日分が目安。

備蓄物資の確認及び災害訓練

◎ **備蓄物資** 保管場所：

毎年 1 1 月に実施

	備蓄完了 チェック	1人あたりの必要量			従業員数 (人)	最低限必要な 備蓄量(自動計算)
飲料水	☐	1日3リットル	×3日＝	9 リットル	10	90 リットル
保温シート	☐	1枚（※2）	－	1 枚	10	10 枚
簡易トイレ	☐	1日5回分	×3日＝	15 回分	10	150 回分

※1：アルファ化米、乾パンなど。 ※2：保温シート等があると保温効果が上がります。

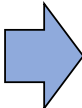
◎ **保険共済への加入** 休業補償・自然災害対策も必要。水害による被害が補償されるか契約内容を要チェック！

- ☒ 火災保険 ☒ 地震特約 ☐ 休業対応応援共済 ☐ 業務災害保険
☐ 福祉共済 ☐ 生命保険 ☐ その他（ ）

◎ **宣言【共助の観点から】** 地域社会のため、以下についても、宣言しましょう。

☐ 職場周辺の地域が行う災害訓練には積極的に参加し、発災時には救助・消火活動等に協力します。
☐ 地域に提供するため、上記の1割増しの備蓄に努めます。

⑤ **BCP発動時の組織体制** 緊急時の組織体制を事前に決定します。

従業員間の連絡方法		☐ メール	☒ SNS	(LINE等でグループ作成)		
		☒ 電 話	☒ その他	(災害用伝言ダイヤル)		
※安否確認の方法をあらかじめ決めておくことが大切です！						
BCP担当						
代表取締役 (司令塔)		内部	担当：	管理者	副担当：	主任
		外部	担当：	管理者	副担当：	主任
		予算	担当：	管理者	副担当：	主任
※職場の安全が保てない場合の避難場所の確認（津波、建物の倒壊、火災など）						
避難場所		崇善小学校				

⑥ **BCP発動時の流れ** 目標復旧時間内に復旧できるよう、初期行動を決定します。

	まず最初に取り組むこと	次に取り組むこと	必要な事前準備
従業員の安全確認	建屋内の安全確認を実施し、負傷者がいないか確認する。	負傷者がいる場合は救護を行う。二次災害の危険性がある場合は、避難場所に避難誘導を行う。	避難場所までの経路 確認、従業員の 安否確認の徹底
自組織の被害状況の把握	建屋内の設備だけでなく、隣接する建物なども含めた被害状況を確認する。	避難情報、交通情報、電気・水道・ガスの復旧情報等の災害情報を取得する。	各情報収集方法の 把握、連絡先のリス トアップ
重要業務の早期復旧への取り組み	業務継続目標に関わる経営資源（人・物・金・情報）に被害が及んでいないか確認する。	業務継続目標の達成を最優先とした復旧対応を行う。（優先順位を意識した対応を行う。）	優先対応利用者のリストアップ、自動車以外の移動手段の確保、近くの公衆電話の位置の把握

簡易版BCPシートは、次回 令和7年 3月に見直します。